

石膏型不要のインソール製作システムで オーダーメイドインソールの短納期・低価格化を実現!



有限会社 須田義肢製作所

📍 新潟県魚沼市大石44-1

☎ 025-794-5112

🌐 <http://www.sudagishi.com/>

■ 業務用機械器具製造業



会社WEBサイト

私たちについて

身体の動きを補佐する 義肢・装具を製作

1986(昭和61)年に義肢製作会社として創業。以来、医師と連携しながら手や足の役割を果たす義肢や身体の動きをサポートするコルセットやインソール、サポーターなどの装具の製作を行ってきた。また、1998(平成11)年には車いすや歩行器、手すりなどの福祉機器の仕入れ・販売も開始した。義肢や装具は病院から依頼があった際に出向き、患者の採寸・採型を行い、製作するため、義肢製作は地域密着型の業態だ。魚沼市に本社を構える須田義肢製作所は、魚沼基幹病院や長岡中央総合病院、長岡赤十字病院、立川総合病院など総合病院との付き合いが多い。



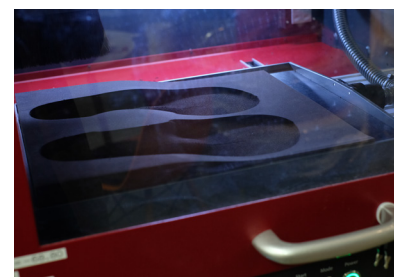
きっかけ

足の痛みを軽減するインソールを 一刻も早く届けたい

創業時からインソールを製作する中で腰・膝・足に痛みを訴える高齢者が増えていることを感じていた。足が痛いと言ったように歩くため、腰や膝への影響が顕著に現れる。インソールを装着することで、外反母趾などの足の歪みを整え、腰や膝への負担を軽減することができる。靴に入れるだけで痛みが和らぐた



め、その手軽さから引き合いが増えていた。しかし、加工に時間がかかることや義肢装具士の人材不足で、納品まで約2週間もかかっていた。

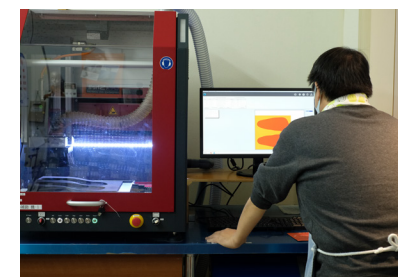


取組の内容

採寸からインソール製作までを 自動化して効率化を目指す

従来インソールをつくる際は、足底の採寸や採型を行い、石膏で足型を作成。その石膏型にインソール素材を押し付けるバキューム方式でインソールを成型していた。この方法では採寸・採型に手作業が必要なのに加え、石膏型を製作するため、一足つくるのに3時間以上かかる。そこで、CAD/CAMを用いたスキャナー

とソフトウェア・切削機が一体となったインソール製作システムを導入。このシステムではレーザースキャナーで足型を採取しデータ化。CAD/CAMで補正したデータを基に、切削機がインソールを削り出して成型する。採寸の自動化や、石膏型の製作が不要になったことで一足36分と、製作時間が83.2%も削減。納期を大幅に縮めることができた。また、石膏等の材料費削減により、製造コストも23.5%減となり、提供価格の引き下げも可能に。さらに、石膏型の保存場所は限られ、1年以上経った型は壊していたが、足型モデルをデータ保存できるようになったため、同じインソールを何度でも製作できるようになった。



その後の展開

インソールの重要性を 伝えていきたい

インソールを一般の人にも使ってもらえればと、ゴルフやランニング、どんなスポーツでも対応できるマルチ型のオリジナルインソールの製作・販売も行っていく予定だ。スポーツ用インソールはスポーツ用品店でも販売されているが、扁平足や怪我をしている場合には医師の目が必要。そこで、須田義肢製作所では病院での診断を通じた上でオーダーメイドでのスポーツインソールも受け付けている。

また、若い人は特に足に気を遣う人が少ない。平坦な道ばかりを歩くことで足の親指を使わなくなり、姿勢の悪化に繋がっているという。インソールを使って足の親指を適切に蹴ることができるようになると、腰が伸びて、身体全体の良い姿勢にも繋がる。こうした意識を医師と連携しながら患者さんに伝えていくことが重要だと考える。



message

初期の外反母趾であれば、インソールをうまく活用することで治る可能性は充分にあります。悩んでいる人は、ぜひ病院で相談してみてください。

専務取締役 井上 康男 氏